

中学通信

7 月 号 第 71 号

編 集 発 行

安八郡輪之内中学校

P T A 会報委員会

印刷所 株式会社 大急印刷

発 行 平成 5 年 7 月



福祉に生きる

激動げきどうするもの

高村光太郎

そういう言葉で言えないものがあるのだ
そういう考方かんがえかたに乘らないものがあるのだ

そういう色で出せないものがあるのだ
そういう見方みかたで描けないものがあるのだ

そういう道とはまるで違ちがった道があるのだ
そういう図形にまるで嵌はまらない

図形があるのだ

そういうものがこの空間くうかんに充満みみするのだ
そういうものが微塵みじんの中にも激動げきどうするのだ

そういうものだけがいやでも
己おれを動かすのだ

輪之内中の外と中

学校長 太田 千里



今年から輪之内中学校で世話になっていきます。

昨年までは、運動会や卒業式に来賓として外から輪之内中学校を見てきました。

中学生の体育祭はバラエティーに富んでいて、力強くて、自主的な運営ができるなあと、卒業式は厳粛で規律正しい、感動的なものであるな等ぐらいいの感想しか持てませんでした。

しかし、輪之内中学校の中へ入ってみて、私の思うことは、今まで勤務してきた、どの中学よりも一番いいのではないかと思ふのです。

その第一は、小学校で「あいさつ」「トイレのスリッパ」「時間を守る」「食後の歯磨き」「だまって清掃」等基本的生活習慣として、身につくように指

導していただいたことが、自分のものになっている生徒が多いことです。

第二は、明るくて素直な生徒が多いから、勉強でも、生徒会でも、部活でも先生の言われたようにするので、自分なりに活躍ができ、意欲的に活動する姿が、あちらこちらに見受けられることです。

第三は、毎週土曜日にある、全校朝会や生徒集会では、誰一人よそ見をしたり、私語をする生徒がいなくて、活動内容や指導が行きとどくことです。

第四は、生徒会が自分達の、学校生活を高めていくために、月の活動計画から今週の計画まで、きめこまかな計画を立てて、実践していることです。

外から見た輪中、輪中の中で見たいくつかを上げてみました。それらのいくつかは、輪中PTAの皆様方の、家庭教育の良さに助けられているものと思います。今後ともPTA活動を通し、ご支援、ご協力下さいませよう、お願いします。

輪中トビックス

一年間欠席ゼロ組

平成四年度の話になりますが、三学期終了時点で、一年間、欠席ゼロを達成したクラスがあります。元、二年一組(杉原龍夫先生担任)です。

「切磋琢磨」をクラスのスローガンに、三十六名十先生のがちりした取り組みは実にすごい。目的に向かって前進出来た事に大きな拍手を送りたい。

はじめまして

大きな視点で共に……

基本担任 安江 憲生



大気、水、海の汚染。オゾン層、森林の破壊。そして戦争。私たちの地球は今までにない危機に直面しています。これらの解体には子どもたちの新しい発想、新しいエネルギーが必要です。大きな視点で子どもたちと共に歩みたいと思っています。

輪之内中学校に

赴任して

二の一名和嘉勝



このたび神戸中より転任してまいりました。技術家庭科と数学を担任しております。輪中の生徒は、明るく誠実な人柄で挨拶も元気にしてくれて、気持ちよく過ごさせてもらっています。そんな生徒と共に、授業研究などに頑張っていく所存です。

『これだけ大きな山を越えたが、それが人を大きくする。』

二の二小山 恭史



今まで28年間生きてきたが、いくつかの山を乗り越えてきた。大学受験の失敗、転職、失恋。どれも、苦しくて苦しくて何度も逃げ出しそうになった。あと少し登れば、それが心の支えであった。親や知人の励ましもあった。これからどんな山が待っているかと、必ず越えてみたい。

自分を磨くこと

二の三 村瀬 若子



「人間はな、人生という砥石でゴシゴシすり込まなくては光のようににはならないんだ。」これは、私の好きな「路傍の石」の一節です。生きる途上にある様々な苦しみこそ、その人を向上させる訳です。自分を磨き、皆さんと共にがんばりたいと思います。

輪之内中学校に

赴任して

一の四 金森 智子



「おはようございます。」毎朝、生徒の明るく元気な声で、輪之内中学校の朝は始まります。とても、気持ちのいい朝です。しかし、前任校と比べ、生徒数は四倍。人数が多いからか、年のせいか顔と名前が一致せぬのが悩みです。これからどうぞよろしく願います。

新しい出会い

高崎由香里



④ かさあふれる生徒

⑤ どのかな環境

⑥ た声ひびく学舎

⑦ よう(町)あげての

パソコン教育

「人が環境をつくり、環境が人をつくる」輪之内中での新たな出会いを喜んでいきます。

車の列を抜けて

雀をよけて

大竹麗子



車で、学校を歩き来しています。私の住んでいる岐阜市内から小一時間はどかかります。穂積の辺りを境に風景がガラッと変わります。岐阜市内は、信号待ちの連続、輪之内に一步入ると、車を飛ばしていても、道路の真中の雀は逃げません。落差のある楽しい小旅行です。

先生紹介



教務主任 西松 敏夫
用務員 吉安美恵子
学校長 太田 千里
養護教諭 不破 千鶴
教頭 吉田 千利
事務 高崎由香里
(右より)

一学年担当

生徒指導主事 伊室 善弘
一の一担任 樫下 明
一の三担任 夏目奈津子
一の四担任 金森 智子
一の二担任 川合 郁子
学年主任 木野由紀子
(右より)



二学年担当



学年主任 加藤 正人
二年所属 田野 節子
二の一担任 名和 嘉勝
二の二担任 小山 恭史
二の三担任 村瀬 若子
(右より)

三学年担当

三年所属 中野 由美
三年所属 大竹 麗子
基本担任 安江 憲生
学年主任 田渡 達久
三の三担任 入山 俊行
三の四担任 平野 栄子
三の二担任 長屋 英人
三の一担任 杉原 龍夫
(右より)



一年のつばさ

抱負

一の一栗山敏弘

中学校生活も、約一ヶ月半が過ぎ、不安だらけだった気持ちも、少し落ちついてきました。中学校は、教科も多くなり、先生も、教科によって変わられたりして、とてもおもしろいと思いました。

部活動も、朝練があったり、放課後も練習と、毎日の生活が忙しく過ぎていきます。

僕が、中学校生活で、一番思う事は、友達、特に、「親友」と呼べる友達をつくることです。部活動では、朝練で体をきたえ、放課後の練習も休まず参加し、先ばいや先生の指導のもと、少しでも卓球が上達できる様に努力していきたいです。

まだまだ、小学生気分がぬけない所がある自分ですが、気持ちを新たにし、何事に対しても積極的に、全力で、ぶつかっていききたいと思います。

目標に向かって：

一の二田中奈緒

「面―」「胴―」「こて―」。体育館いっぱいひびきわたる声。『すごいなあ。剣道部に入りたい。でも先ばい達みたいにならなかなあ。』と、不安と期待でいっぱいの中、私は、剣道部に入部しました。

実際、朝練がとてきびしいです。例えば、校舎の周りを五周とか…。でも、「これも、うまくするためのなら。」と思いがんばっています。放課後の練習では、初心者の方は、先ばいに基本を教わってもらっています。とても分かりやすく、しっかり教えてもらえるので、ありがたいです。

今の目標は、そんな先ばい達に教えてもらったことを生かし、中体連で、良い成績を残すことです。そして、悔いのない三年間にするために、一回一回の練習を大切にし、がんばっていききたいと思います。

社会見学

一の三川合美帆

「わっ、これはすごい。」

市科学館内の「科学技術Ⅱ」で私が最初に思ったことでした。そこには、いろいろなめずらしい物が置いてありました。同じ班や、ほかの班の子と一つ一つ見に行きます。パソコンを使った音楽ゲームやクイズ、心臓の動きが分かる装置など、それぞれを見学するたびに、おどろきや発見、そして興奮します。



なかでも、パソコンを使った音楽ゲームでは、自分で、自由に曲を作ることができ、それだけでなく、一通り聞くことができます。あらためてもう一度聞くと、とてもおもしろくて、みんなであつてしまいました。

初めての

中間テスト

一の四 小林美由記

「机の中の物をすべてカバンへしまいなさい。カンニングした人はその場でテスト中止。」先生の言葉がとて厳しく聞こえました。それと同時に、小学校の時とはちがう緊張感が、体の中を流れました。

問題数の多さ、問題と解答用紙が別なこと、放送によるヒアリングなど初めてのことがばかりで、五十分間が短かく感じられました。一週間前から部活動も停止期間になり、早く帰宅していたのに、まだ明日があるからいいとテスト勉強が一日のぼしになり、結局一日だけの勉強になつてしまったような気がしています。もつとやっておけばよかったという後悔がありました。今度からは計画表を上手く活用し

て勉強したいと思います。そして、次の期末テストでは、しっかり勉強して、後悔がないようにがんばりたいと思います。



二年のキャンパス

中間テストを終えて

二の二 浅野純代

二年生となり、去年とはまた一味違った緊張の中でうけた中間テスト。けれど、私の心には不安は少しもなかった。なぜなら、私の中で少しずつ確実に自信がわいてきていたからだ。今回のテストは、今までの中で一番苦しいテストだった。その一つに、塾と部活と家庭学習との両立があった。部活をぬけてからは家庭学習を一時中断。これが毎日の日課となってくると、生活のリズムが乱れ、テスト数日前には体調をくずしてしまった。また、絶対得点をあげるといって自分自身へのプレッシャーもあったと思う。

よりよい輪中を

目指して

二の三 森 太樹哉

この輪中をより良くするため、に、ぼくは執行部の一人となりました。

そして、スローガンである、『実現思考』に向かい、生徒会で思い考えられた事が、全校生徒の力で実現されるよう、他のメンバーと力を合わせ積極的に活動していきたいと思っています。

思い出の社会見学

二の三 伊藤正人

二年生の社会見学は名古屋までバスで行き、栄で小数のグループに別れて最後に名古屋港へ集合することになりました。僕達はまずテレビ塔に行きましたが、上からのながめはすばらしく高層ビルが立ち並ぶ中に緑が多いのに驚きました。それからセントラルパークの地下街を通って地下鉄の栄駅へ行き、一日乗車券の買い方が分からなかったのが駅員さんに聞いたら自動販売機で簡単に買うことが出来ました。でも地下鉄は人が多くて暑いので朝夕のラッシュには大変だと思いました。東山動物園で食事をしてから市立科学館へ行きました。帰りには、栄駅で、名城線に乗り換えをしましたが、案内の表示が分かりにくく難しかったです。

でも自分達で考えたスケジュール通りに間違えないで名古屋港に着いたときは、とてもうれしくて、また、このような社会見学をしてみたいと思いました。



バレエ部の

今後に向けて

二の一 荻真奈美

私がバレエボール部に入部してから、もう一年が過ぎました。去年は自分なりに上手くなろうとがんばりました。しかし、まだまだ良いプレーができません。だから私は試合の時などに先輩や友達の良いプレーを見て、私も上手になりたいという強い気持ち

執行部の活動で

二の二 荒川賢司

になりました。そして、今までの自分より、もっともつと良いプレーができるようになりたいと思っています。そのためにも日ごろの練習で一つ一つの動きをいっしょけんめいやっていくつもりです。私が今、特に力を入れようと思っているのはレシーブです。

また今年は二年生ということ、で、先輩が引退してしまうと、私たち二年生が部の中心となって、ひっぱっていかなくてはなりません。そのためにも、今からがんばっていきたくです。

そして、先輩や仲間と一緒に中体連に向けて、がんばりたいです。

執行部の活動が始まった時から遅くまで活動をして原案を立てたり、話し合ったりして、体がもたない日があります。しかしまだ始まったばかりです。どんな仕事があっても、仲間と助け合いそして最後に感動のできるように、執行部をやっているよかったです。いえるように、がんばって活動をしていきたい。



三年のライフ

失われつつあるもの

三の三 田中祐次

みなさんは、執行部が、いったいどんな活動をしているか、知っていますか。

執行部というのは、六人で活動している委員会です。執行部は、みなさんの先頭にたつて、学校をよくしていくこうと、取り組んでいます。

今までに行った活動の中にアトム運動があります。自分の自己管理能力を高めるために、全校生徒が、一丸となり活動しました。そのことが、頭髮自由化へとつながったのです。

今、僕たち執行部が取り組んでいるのは、アトムの見直しです。今の自分の姿をふり返ってみて下さい。今、自己管理能力が、弱まりつつあるようです。先輩達が築きあげてきたものが、失われつつ感じます。そのために、執行部が、取り組んでいるのです。全校生徒の手で、失われつつある大切なものを、守っていきましょう。

最後の試合

中体連

三の一 近藤香寿恵

今まで、試合の経験は何度もあります。

でも、今度の中体連は三年生の私達にとって最後の試合。そして、三年間の努力を発揮する最後の舞台となります。

部活で先生から何度も注意されたり、きつくおこられたりしてきましたが、そんな時は、み



んなではげまし合いそれらをのりこえてきました。

また、私達バレー部は三年生のスタメンばかりでなく、ベンチにいる仲間や、二年や一年も一つになれます。だから、試合になると、先輩たちの応援や三年生のアドバイスの声が、コートの中をとり交わります。そんな仲間と、囲まれたのだから。来る七月二十一日のバレー部の卒業式、今度の中体連では、ぜひとも、いい結果を残したい。後悔を残さずいい結果を残すよう頑張つてやりたいと思います。



修学旅行を振り返って

三の二 山口幸子

修学旅行の思い出……というのは、たくさんあります。例えば一日目の班別研修のとき切符をまちがえて買ったこと、道に迷ったこと。二日目のデイズニールランドでは、ほとんど並ばずに計画したアトラクション全部に乗れたこと、色々なキャラクター達と写真を撮ったりしたこと。

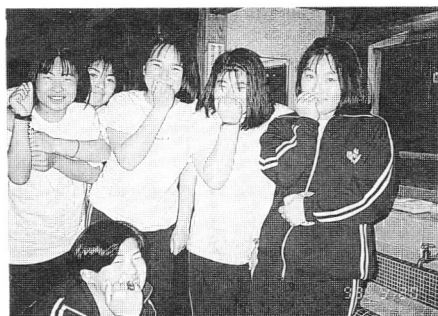
三日目は、皇居や国会議事堂、近代美術館の見学、浅草での買い物などが心に残っています。

学級・学年の目標にあった、「チャレンジ精神」「団結力」にのっとり、新しい体験をしたり自分の仕事を果たしたりして、たいへん楽しい三日間をすごすことができました。修学旅行で学んだ、「自分の仕事は自分の力で責任を持つてやる」という気持ち、これからの行事や生活に生かしていきたいと思ひます。

バス学習について

三の四 牧野直子

中学校生活最後の年は、受験の年でもあります。5月のはじめから朝、バス学習が始まりました。さう、やるぞ、ときっと



みんなが思ったと思います。予習テキストを家でやってくる。そしてミニテストをやる。そのくりかえしで、二年の復習をやるのだけれど、そのくりかえしを二月までやろうとすると、今までの勉強に対する気持ちならきつとまあ、いいや、で絶対サボっていると思います。けれど、みんなが今まで以上にがんばっているし「負けたくない」という気持ちもあるし、中学校生活最後なので思い出にのこるぐらい何でも一生懸命やりたいたいと思っています。

ただどやっぱり口だけになるときがあるのでちゃんと行動でしめしたいです。何でもくいのこらないようにがんばりたいです。

PTAの広場

家庭教育の

大切さを

PTA会長 森島徹也



平成五年度、PTA会長をお引受けすることになりました。

この一年間会員皆様方の、御支援を得まして一生懸命動めたと思います。宜しくお願い致します。

PTAが組織されて四十五年になります。当初は教育施設の充実、校内環境整備、奉仕活動にと後援会的なPTAであったと思います。世の中が安定すると、自ら考え行動するPTAとして日常をとりまく問題について、いろいろな活動がなされて来しました。

人々が豊かさを求めつづけた結果、産業経済界はめざましい発展をとげました。その反面、置き忘れられたのが家庭教育の大切さではないでしょうか。

家庭において、子供たちは身近な手本として、親の姿から学びます。親も又子供の姿を見て学びます。基本的な生活習慣、技術など家庭の中で学習していきます。家庭生活の中からおもいよりの心も学びます。

学校週五日制の導入をきっかけに、今一度家庭教育のあり方について問い直し、その大切さ、重要さを考えて頂きたいと思ひます。

新役員紹介

【本部役員】

会長

森島徹也

副会長

土井田とみ子

書記

安田京子

書記

浅野かつ代

会計

吉田三津子

母親代表

野々垣静子

【実行委員】

福東

浅野ひろみ

加納じゅん

金森友子

仁木

松岡知里

大 薮

水谷千鶴

森島弘美

高橋敦子

青木清子

小塚幸子

こんな活動を

一年学年代表

松崎直美

一年学年PTAは、家庭教育学級を年三回実施します。「子どもが成長するために、講演を計画しています。皆様のご協力をお願い致します。」

二年学年代表 小林浄子

二年学年代表

小林浄子

皆様方の、暖かい、お声や、お力添えを頂きながら、委員の方々と力を合わせ、「実りある学年PTA」をめざし、頑張っていきたいと思っています。御協力をよろしくお願い致します。

三年学年代表

後藤弘子

全く、予期していなかった事で、果たして、お役に立てるのかと、不安が先に立ちます。本当に何も分らず、皆様に御迷惑をおかけすると思ひますが一年間よろしく願ひします。

成人委員会

小塚幸子

本年度の研修視察は、会員の皆様の親睦を深める事を目的として、七月二日に、京都の三十三院拝観とあじさい苑を視察いたしました。多数のご参加、ご協力ありがとうございました。

安全委員会

加納じゅん子

新しい道路、信号が、どんな出来の毎日です。五月には、通学路見直しに、御協力ありがとうございました。子供達の安全のために、頑張りますので、よろしく願ひ致します。

校外委員会

水谷千鶴

今年一年、校外委員長を務めさせて頂きました。このような大役を引き受けたことは初めてで、委員の方々と協力を得て、校外指導・地区懇談会の開催等を行ないますので、皆様方の御協力、御指導をよろしくお願い致します。

母親委員会

山之腰沙知代

母親委員長という大役を仰せつかり、何もわからないまま、不安ばかりで、スタートを切った訳ですが、PTA会員の皆様の御協力のもとに、委員一同頑張っていると思っています。

会報委員会

浅野ひろみ

この一年間、会報の仕事をして頂く事になりました。微力ですが、頑張ります。先生やPTAの皆様の御指導と御協力どうぞよろしくお願い致します。



夏休みの生徒指導について

42日間の夏休みが始まります。夏休みは生徒が自分で計画を立て、その計画を自分の意志・判断で進んで実行していく姿勢が大切です。また、そこには家庭や地域の教育力が期待されます。生徒の意志を大切にしながらも、適切なアドバイスをしながら軌道修正してやることも必要です。

また、家族との触れ合いを大切にしながら、地域の行事等にも積極的に参加させるなどして、日頃の学校生活では味わえないさまざまな体験をしながら、心豊かな生徒へと少しでも成長してもらいたいものです。

充実した有意義な夏休みとなりますよう、ご家庭での励まし、指導援助・見届けを是非ともよろしくお願いします。

- 一、計画に基づいて実践
 - ・目標や計画が子供の普段の生活に即しているか、確認し励ましてやって下さい。実践目標はこきざみにするのが、実行しやすいでしょう。
 - ・必ず一日を振り返る時間を持ち、明日につなげさせて下さい。
- 二、感性を豊かにする機会
 - ・自然や文化（科学館、博物館、美術館等）に接する機会をできるだけつくるとともに、親子の触れ合いを密にして下さい。
- 三、生命の安全と健康づくり
 - ・自転車の乗り方等、学校を一步離れるとなかなか交通ルールが守れません。出かける前には一声かけてやって下さい。
 - ・近辺では相変わらず交通事故が多く起こっています。
 - ・部活動には進んで参加させて下さい。欠席すれば、部全体の雰囲気にも関わってきます。
 - ・部の計画も見ながら自分の計画が立てられるとよいでしょう。休むときは必ず連絡をさせて下さい。
- 四、あいさつ
 - ・あいさつは心と心が通う第一歩です。家庭での「おはよう」のあいさつに始まり、地域の人にも進んであいさつができるよう期待しています。
- 五、相談活動
 - ・進路相談、悩み相談、学習相談、一研究の相談等、希望する先生が日直のとき等に気軽に來て下さい。
- 六、問題行動
 - ・万引きや無免許運転等は、初発型非行と呼ばれています。
 - ・しかし、法で触れる行為だけに重大な問題であるという認識が必要です。
 - ・深夜徘徊や外泊は、様々な問題発生の誘因となる場合があります。ご家庭でもやめるように御指導をお願いします。
 - ・様々な情報は早めに学校にもお知らせ下さる様をお願いします。



「少年非行」について

輪之内警察官派出所

派出所長 田中良二

今回は、お父さん、お母さん方の関心の高い「少年非行」についてお話をします。

最近の青少年は、素直で、感性的な反面、個人志向の傾向がみられたり、主体性や忍耐力に乏しく、社会環境の著しい変化と相まって、非行や引きこもり、登校拒否等が健全育成上の大きな問題となっています。

昨年、大垣警察署管内において補導された非行少年は、一〇三人（内女子二九八人）となっていて前年に比べ一七人の減少となっていますが、女子非行は一〇人の増加となっています。

うち中学生は、一七六人で四一人の増加、高校生は、四九〇で一七四人と激増ぶりを示しています。

この状況の中で特徴的なものをあげますと、

一、刑法犯少年の増加

中学生が約三六％、高校生が約三二％を占め、自転

車やオートバイなどの乗物盗空き巣などが目立ち、増加しています。

二、シンナー吸入が増加
中・高校生の増加が目立ちます。

三、中学生の喫煙の増加

これらのことから、少年非行を防ぐため特に家庭での

○親と子供との話し合いをすすめること

○子供の行動を理解して、関心をもつこと

○正しいしつけをすることなどが大切ではないでしょうか。

もし、少年問題などで相談があれば、派出所や警察署に相談に来て下さい。



第七十一号の中学通信の完成

と共に、先生方のお力の大きさや、会報委員皆様の御協力のおかげがたさを、つくづく感じさせて頂きました。原稿を書いてくださった多数の方々、その他、この仕事にたずさわってくださった方々、会報を読んでもくださる方々に感謝いたし、今後の活動の糧にさせて頂きたいと思えます。